

平成26年 2月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～

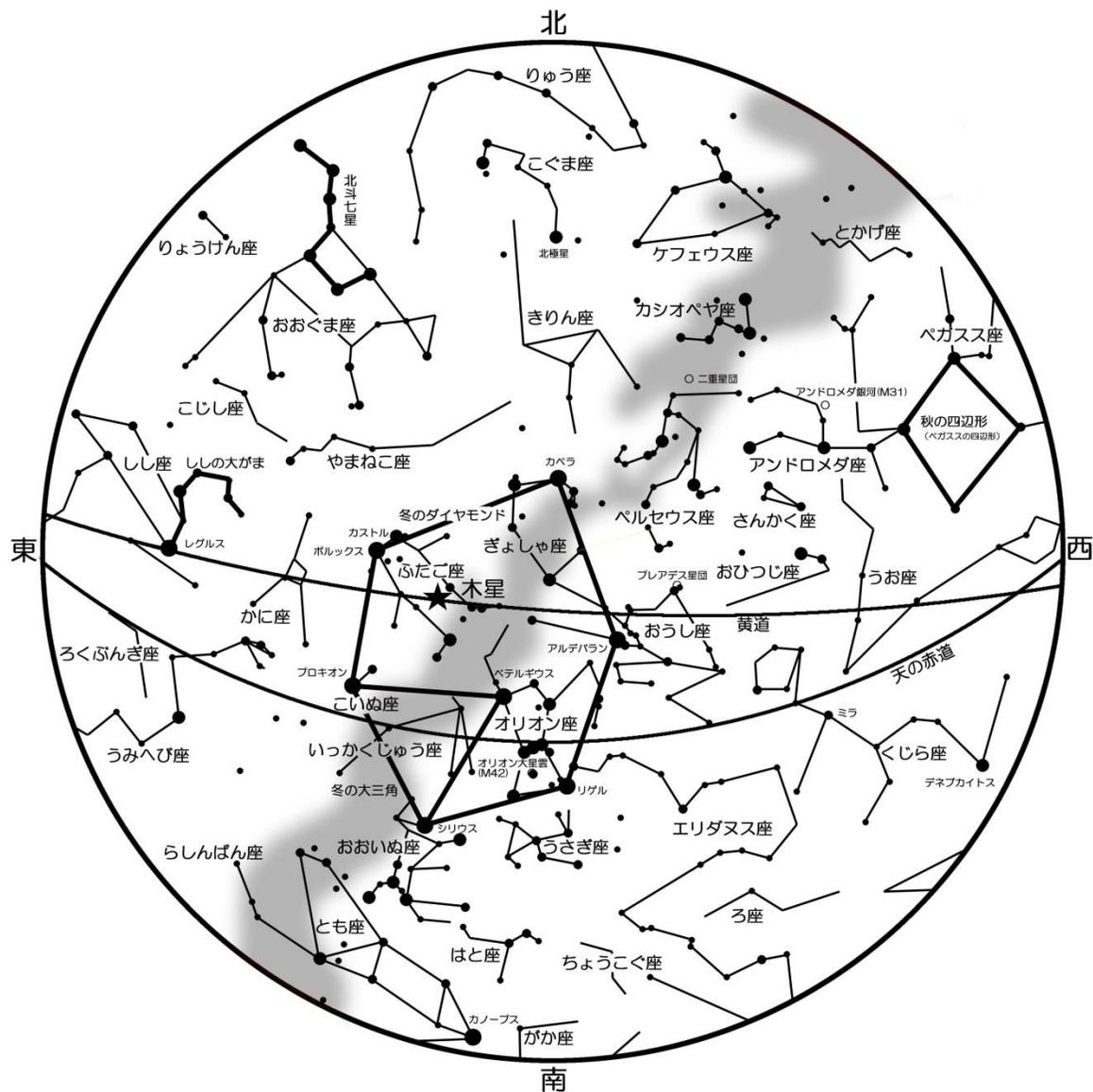
★2月の星空案内

年が明け、ひと月が過ぎました。寒い日が続いていますが、2月4日の立春を過ぎると、暦の上では春になります。実は、星空も同じです。少し遅い時間になれば東の空には春の星座たちが姿を見せ始めますが、まだまだ冬の星座たちが輝いています。

冬の星座探しはオリオン座からスタートです。オリオン座は1等星2個、2等星5個からなる最も形が整った星座の1つです。1列に並んだ3つの星“三つ星”を明るい4つの星が取り囲んでいる星の並びが目印になります。左上で輝く赤い1等星がベテルギウス(脇の下)、右下で輝く青白い1等星がリゲル(左足)です。“三つ星”を北西(右上)にのぼしていくと橙色に輝くおうし座の1等星アルデバランにぶつかります。そしてさらにのぼしていくと青白く鮮やかに輝く星の集団M45プレアデス星団“すばる”を見ることができます。反対に“三つ星”を南東(左下)にのぼすと全天で最も明るく輝くおおいぬ座の1等星シリウス(約-1.5等)にぶつかります。また、オリオン座の東側にはシリウスよりも少し暗いこいぬ座の1等星プロキオンを見ることができます。このプロキオンとおおいぬ座のシリウス、オリオン座のベテルギウスを結んでできる三角形を“冬のダイヤモンド”といい、冬の星座探しのよい目印になります。そしてオリオン座の北側、ちょうどオリオンの頭上でやや黄色っぽく輝いているのがぎょしゃ座の1等星カペラです。そのカペラの東側には、明るい星が2つ並んだふたご座を見ることができます。左側の明るい星が1等星のポルックス(弟)で、右側が2等星のカストル(兄)です。そして、カペラを頂点にして、ポルックス、プロキオン、シリウス、リゲル、アルデバランと6つの1等星を結んでできる大きな六角形を“冬のダイヤモンド”といいます。

また、ふたご座の近くで木星がひととき明るく輝いています。望遠鏡を使うと、木星のまわりを回る天体、ガリレオ衛星(イオ、エウロパ、ガニメデ、カリスト)も見ることができます。

このように、冬の星空は大変にぎやかです。暖かい格好をして、ほんの短い時間だけでも星空を眺めてみませんか? きっと冬の星たちが「眺めてよかった」という気持ちにさせてくれるでしょう。



< 現在見える惑星 >

- 水星: 2.0等前後 みずがめ座付近 太陽に近いので観察に適さない
- 金星: -4.6等前後 いて座付近 夜明け前 東南東の空低く
- 火星: -0.1等前後 おとめ座付近 夜明け前 南西の空
- 木星: -2.5等前後 ふたご座付近 20時頃 南東の空
- 土星: 0.5等前後 てんびん座付近 夜明け前 南の空

| 日 | 曜 | 天文現象 | 日 | 曜 | 天文現象 |
|----|---|----------------------------|----|---|--|
| 4 | 火 | 立春(07:03) (太陽黄経 315°) | 15 | 土 | 金星が最大光度(-4.6等) (13:42) 水星が内合(14:32) |
| 7 | 金 | ☾上弦(04:22) 土星が西矩(20:59) | 20 | 木 | 夜明け前の南の空で火星と月とスピカが接近 |
| 15 | 土 | ☾満月(08:53) | 23 | 日 | ☾下弦(02:15) |